

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	NH	学部・学科	理学部理学科
学 年	2 年	派遣国	アメリカ
派遣大学	サウスカロライナ大学		
期 間	2024 年 8 月 14 日～2025 年 5 月 5 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (187500) 円 *1 ヶ月あたりの寮費、家賃、食費(一学期間 meal plan \$1716, 264000 円分含む)					
移動	(徒歩) で、約 (3) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	10000 円	基本 meal plan(学食)を使ってその他自炊したい時に食料調達
学用品購入費	0-4000 円	取る授業によって教材がいない。オンラインで無料 pdf をダウンロードすることも。
交通費	0 円	徒歩なので
交際費	10000-20000 円	友達と遊んだりご飯食べに行ったり
その他	0 円	

合計

約 30000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

基本学校内にいて外に出なければ学校に police もいますし安全です。ですが万が一のためにも一人で夜中歩くのは控えていました。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	10 ヶ月間	保険料	103,930 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (エイケン/Aiken)

田舎町。穏やかな気候(湿度は日本ほどない)で優しい人が多い。アジア人は少なく、白人と黒人が半分半分くらい。

交通手段は車がメインなので学校外に出たければ車持ちの友達を見つける必要があるかと。

【学業編】

1. 大学情報

大学	University of South Carolina	所在地	Aiken
最寄空港	Augusta regional airport	空港からの距離	車で 30-40 分
空港⇄大学	(車、Liz さんが空港の送り迎えをしてくれます) *移動手段		
学生数	3000 人	留学生数	年間 30-40 人
学部	Arts, Humanities & Social Science Science & Engineering Business Education Nursing *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Science & Engineering (Biology) *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月 total credit: 14

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		10:50-12:05 BIOLA302 Cell and Molecular Biology	9:00-10:15 EXSCA191 Yoga	10:50-12:05 BIOLA302 Cell and Molecular Biology	
午後		12:15-1:30 BIOLA330 Microbiology 1:40-2:55 ASUPA110 Emerging Leader	1:30-4:15 BIOLA302 Cell and Molecular Biology Lab	12:15-4:20 BIOLA330 Microbiology Lecture & Lab	

*オンライン: SOCYA101 Sociology Credit 3

② (1)月～(5)月 total credit: 13

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		9:25-10:40 BIOLA340 Virology 10:50-12:05 BIOLA335 Microbial Ecology	9:00-11:40 BIOLA335 Microbial Ecology Lab	9:25-10:40 BIOLA340 Virology 10:50-12:05 BIOLA335 Microbial Ecology	
午後	1:30-4:15 BIOLA340 Virology Lab	12:15-4:20 BIOLA336 Biology of Fish Lecture & Lab 6:30-7:30 EXSCA192 Self defense		12:15-1:30 BIOLA336 Biology of Fish	

3. 履修内容

科目	Cell and Molecular Biology		
履修期間	Fall2024	単位数	4
授業内容／形態	原核および真核細胞の構造、分子組織、生理学の原理。ゲノムの構成と発現 細胞の成長、分裂、細胞間相互作用。週 3 時間の講義と 3 時間の実習。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	分子細胞生物学	
	単位数	2	
	担当教員	一色正之、内山英穂	

科目	Fundamentals of Microbiology		
履修期間	Fall2024	単位数	4
授業内容／形態	系統学、代謝の多様性、遺伝的制御、生理学的活動に重点を置いた、バクテリアとアーケイドメインの入門書。シグナル伝達経路、遺伝子伝達機構、共生、およびこれらのプロセスの生態学的意義について議論する。週 3 時間の講義と 3 時間の実験。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	微生物学	
	単位数	2	
	担当教員	沓名伸介	

科目	Sociology		
履修期間	Fall2024	単位数	3
授業内容／形態	理論的アプローチ、研究方法、文化、社会構造、社会化、集団、組織、社会制度、社会的不平等などの概念を含む社会学分野の一般的入門。社会学的想像力」を用いて、これらの理論や考え方を日常生活に応用する。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	社会学入門 a	
	単位数	2	
	担当教員	角田隆一	

科目	Emerging Leader		
履修期間	Fall2024	単位数	2
授業内容／形態	リーダーシップ・スタイルに重点を置きながら、様々なリーダーシップ・スキルを検証し、リーダーシップ開発の入門を提供。いくつかの課題を通して、受講生は自分自身の能力を積極的に検証し、地域社会のリーダーとなるために必要な重要なスキルを身につけます。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特別講座(留学科目・共通教養 A)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Microbial Ecology		
履修期間	Spring2025	単位数	4
授業内容／形態	微生物生態学では、微生物に適用される生態学的原理、進化、生化学的コミュニケーション、および微生物がどのように環境に適応し、その環境を修正するかに関連するその他の要因について紹介する。共生やその他の進化メカニズムの例を、感染症との関連において考察する。週 3 時間の講義と 3 時間の実験。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	特別講座(留学科目・共通教養 B)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Virology		
履修期間	Spring2025	単位数	4
授業内容／形態	ウイルス疾患、ウイルスと細胞の相互作用、ウイルス複製のパターンなど、ウイルス学の基本概念。主にヒトの疾病に関与するウイルスを取り上げる。週 3 時間の講義と週 3 時間の実験。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	特別講座(留学科目・共通教養 C)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Biology of Fishes		
履修期間	Spring2025	単位数	4
授業内容／形態	魚類の生物学、進化、生態学、保護について概説する。系統、分布、形態、生活史、行動などの側面を含み、特にアメリカ南東部の淡水魚種と海洋魚種に重点を置く。週に講義 3 時間、実験 3 時間。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	特別講座(留学科目・共通教養 D)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

なんでも人生無いものねだりだと実感。日本にいたら日本より海外がキラキラしている、発展しているように見えますが実際出てみるとそうでもなかったり。今までは日本に対してのデメリットの部分ばかり見えていましたが、実は立派な部分がたくさんあったのだなと感じました。日本を客観的に見ることで今まで認知していなかった気づきを以下箇条書きで書いていこうと思います。

日本の良さ:

- ・交通機関が発達していて基本どこにでも行けるしコンビニなど各所にあって如何に日本が便利か気付かされる。アメリカは土地が広い分電車は都市部しかないため基本車移動。逆に言えば車がなければどこにも行けない。留学先は田舎だったのでバスもメジャーじゃなかった。

- ・当たり前だが食がおいしい。久しぶりにアメリカで食べた日本食が沁みました、、、日本にいた頃よりも出汁などを好きになった。アメリカ食は基本味付けが濃い or 揚げているものが多いので。アメリカ人に聞くと日本食といえば寿司、ラーメン、照り焼きチキンなのが面白い。日本じゃ照り焼きチキンはそこまでメジャーじゃないと思うので。生の魚や納豆、和菓子(あんこ)は苦手な子が多め、好きな子もいますが。日本人より塩味に敏感、塩分よりもアメリカ人は甘さ、アフリカ系は辛味に tolerance あり。

- ・どこも綺麗、お手洗いなどは特に感じる。日本のように便座が温まるウォシュレットなど無いしなんなら便座がガタガタ。そしてお湯や水圧をほぼ気にしなくていいのが日本。他の人が水道使っている時に被るとシャワーのお湯が急に水になったり、水圧下がったりする例えホテルでも。

- ・安全面。アメリカは危険で夜中一人で歩けないので気を張って歩いていることが多い。ロサンゼルス観光したときも街の至る所にホームレスの人が床に座っていたりお金を求めてきたり(割と治安が良い学校付近の交差点でもたまにいました)する。

- ・食に対する感謝、食べ残しをしない教育がなっている日本。宗教的なものがなくてもいただきます、ご馳走様を言う、自分のとった食べ物全て食べ切るっていう習慣があるのが素敵だと思った。アメリカでは食べ残しても気にしない人が多いので、、、

アメリカの良さ:

- ・自然豊かで自分時間を大切にできる。自由時間が日本よりも多い、他人の目を気にしなくていいからこそ自分のやりたいことに集中できる。

- ・サウスカロライナは日本と同じような気温・気候ですがより穏やかで湿度も低めなのでとても過ごしやすい。天気の良い日も多い。

- ・イベントが楽しいし日本にないイースターやサンクスギビングなどがある。特にハロウィンやクリスマスが日本とは桁違いにデコレーションがされて盛大に祝われる。逆に new year の時に割と簡素だったのが意外でしたが。日々学校のホールなどでマジシャンやピアニストなどアーティストが来るイベントが開催されていて学生はタダで入るのでたまに

行っていました面白い。

- ・少人数クラスで教授との距離が近い。わからないことはすぐに聞けると思う。教え方が上手、生徒思いな教授が多いので授業が楽しい。日本にないヨガやセルフディフェンスを学ぶ授業、フィールドワーク多めの授業など面白い授業がたくさんある。

- ・定期的にテストがあるので理解度をあげるためのとても助かっていた。日本みたいに最後のテストで単位取得が決まる、ということはまずない。課題提出や出席、日々のクイズ、テスト、レポートなど総合的にみってくれるのでよっぽどのことがない限り落単することはまずないのではないかと。英語で覚えた方が意味が通ってわかりやすいこともたくさんある。

- ・良いと思ったことを赤の他人でも言葉で伝える文化がある。I love your outfit や you look so pretty など、実際私も言われましたが、言われるだけで1日が少し彩るように感じます。はじめはそんなことが普通だと思ってなかったので驚いて何も返せませんでしたでしたが他人を褒める、それも軽く日常会話の一部として褒める文化は素敵だと感じた。日本では他人にそんなことをいうと変な人のように思われそうですが日本にも普及すればいいのになと密かに思ってます。

- ・上下関係があまりないので敬語などで窮屈に感じる機会が少ない。先輩でも後輩でも友達になりやすい。教授に手を振ったりもする。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

横市では受けられない授業などを履修できたことでより幅広い知識を得るとともに興味分野が広がったと思います。これから理学部内の配属先を決めるにあたって、この留学で感じた学びに対してワクワクする気持ち、学ぶことの楽しさを忘れずにいたいです。例えば進路に悩んだとしてもこのことを元に考えていれば自然と自分の進むべき道が見えてくると思います。

今回の経験が今後大学院進学するにあたって海外にまた出るのか否か、どんな方向の学びを今後続けていきたいのか考える一つの指標になったのではないかと思います。留学前は大学院進学は考えていたものの、海外大学院を視野に入れてはいなかったので留学を通してより海外に出るハードルが自分の中で下がったのかなと感じます。将来は英語を使う、英語に関わる理系のお仕事に就きたいとも思うようになりました。そのためにもこの留学で終わりではなく、これをスタートとして考えて行きたいです。今の自分にできることとして海外で出会った仲間と随時コンタクトを取りつつ、英語力をより向上させるために英会話、資格勉強を今後続けていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学をしたい、でも勇気が出ない。そんな方々も多いのではないかと思います。実は私自身最初から 100%留学を希望していたわけではありません。特に理系学部だと 1 年の交換留学をしてしまうと 4 年卒ができないと言われ、そして中々それを承知で留学決断する人が少ないので、よりハードルが上がるのではないかと思います。そんな中私が留学を決意したのは留学に行きたくても行けない人が大勢いる中で、行ける機会をいただける私自身の環境が恵まれていると自覚したことが大きかったように感じます。

そして今では短期留学ではなく、長期留学にして心から良かったと感じています。長期だからこそ出逢った人々、経験すること、深まる周りとの絆、自分自身の成長など、得られたものはかけがえのないものです。こんな風に留学を誇張する文は見飽きたと思う人もいるかもしれませんが、これ本当です。1 年間周りの同期と卒業が遅れるとしてもそれ以上の価値があると思うのです。

英語力に自信がない人、留学先友達が作れるか心配な人、留学に対して人それぞれ不安は必ずあると思います。ですが私の経験上、1 年なんてあっという間です。短期留学を希望しているなら尚更。無我夢中で日々を過ごしていたら悩みもいつの間にか乗り越えられているはずです。日本を、自分を客観的に見る、異国で外国人になる経験を通して今まで考えてこなかったことや感じることはたくさんあります。後悔する前に勇気を出して一歩踏み出してみませんか？きっと成長した自分に出会え、自信を持てるようになるはずです。